

第2回WSでのアンケート調査結果

補足資料-1

Q1 グループで話し合いをした今日のワークショップについて、どのような感想を持ちましたか？	満足度
とにかくテーブルの方たちと話し合えた。	満足
漁港建設以外のアイデア(漁業を守る)の募集比較をもっともって現実化できるといい。	不満足
時間配分が悪い。グループ作業をもっとしてほしい。	不満足
第1回不参加でしたので、WS全体像について把握不足ですが、ファシリテーターがWSの成果を上げようとする姿勢(舵取り)は評価できる。しかし議論の中でも再々出た「WSの位置づけ」(市の方は資料3P2フロー図で並列と説明されたが)が、不安定と感じた。	—
前半が長すぎて話し合いが不完全燃焼!!時間不足。	どちらでもない
色々な立場の人がいて、なかなか話が先へ進めない。	その他
2時間かけて話し合う内容ではなかったと思う。一歩踏み込んだ建設的な場にしてほしい。	不満足
十分に配慮がなされた運営だったと感じました。	満足
データが足りない。	よくわからない
このWSで(今のやり方で)残した結果が実際にどのように、どの場に反映されるか疑問です。	よくわからない
結局皆は何を意見したらいいか…という感じはまだ変わらない。どうしたらいいの?という事が変わっていない。	不満足
もっとグループで話し合いしたい。	よくわからない
大変良く	—
ワークショップの焦点がズれて来ていて混乱する。	よくわからない
ワークショップは和訳すれば研修のはず。参加者の想いを知る場だろうが、テーブル内での議論の時間が少なくなっかなり不満足。	不満足
テーブルでの話し合いの議題を出してもらわないと反対意見に偏ってしまう。	よくわからない
最低のワークショップです。ワークショップで何をしたいか、等は我々が今議論すべきことではない。前回の漁港の必要・不必要からスタートすべきだという議論の方がよほど有意義だと思う。	不満足
	よくわからない
	不満足
	どちらでもない
	どちらでもない
	不満足
	満足
	よくわからない
	どちらでもない

Q2 第2回ワークショップのなかで、関心が深まったことや、理解が進んだことが何かありますか？

皆様に問題意識がある事ははっきりしているけれども、形にしたいのか。成立させたくないために課題や宿題を多くしているように見受けられます。

漁業に対し理解を深めたい。

事前情報が少ない。WSの中で話し合う内容、目的がいまいち不明。市は参考意見と言うが。

WSの前半は相変わらずよくわからない。漁師さんから話が聞けて良かった。

漁業者の方と話が出来て良かった。傍聴者も参加できたのは良かった。

色々な意見を出し合う場としては必要。

漁業者の生の意見。

それぞれの立場の意見をもっと聞きたい。

ワークショップの位置づけ

漁業の方の意見が聞けた。

互いの気持ちが理解できていない。

WSの最終意見の扱いがいまいちになっている事がわかった。

漁業者が思っている事項(漁港がほしい)という内容が一部ではあるが理解できた。

ワークショップのあり方が少しずつ見えてきた。

漁業者の意見。

参加メンバーが大変良い。

ワークショップの目的がズれている。このような議論は時間の無駄ではないか。

Q1のコメントの通り、参加者の想いについては理解が進んでいない。準備された資料ベースでしか理解が深まっていない。

各業界・業種の連携と色々な仕事に携わる人の連携が活用しだいで面白いことになりそうな予感がした。

まったくなし。無駄と言ってよい時間であった。

Q3 第2回ワークショップのなかで、質問や発言できなかったことがありますか？

一人でしゃべってはいけないのでは？

市の準備不足は、認識の甘さが露呈したことに対し、WSのゴールを参加者で決めるというのは無責任、あまりに。国の変化(震災)、建設推進派の動機とその数字的裏付けを吟味して、ワークショップにかける提案を市側が示す形式に仕切り直すべき。(もっと時間をかけて提案を作してほしい)そうでないと参加者の時間を大変無駄にしている。

もっとちゃんと仕切ってほしい。無駄な(?)発言が多い。

6回でまとめようとするには無理がある。かと言って、回数を重ねれば良いとは思っていないが。

ハブコメの前に「市政便り」の号外を出すべき。⇒市中全世帯に配布

行政はデータの開示をしてほしい。

みんなが何考えているのかわからない。

せっかく漁港ができるのであれば、鎌倉 海の駅みたいな物も一緒に出来れば!!

グループ討議で発表すれば良いことを全体に発表して進行が遅れていると思う。同じことを2度も発表しないでほしい。

港を作りたいという様々な意見を聞きたい。

とにかく議論をスタートする前提となる資料が欲しい。金額・費用対効果等客観的なものがなければ意味が無い。WSの意見の扱いは市のコメントでわかった。こんなものは市が一言いえばよく、みんなで議論しろと言うのは…あり得ない。

Q4 今後、ワークショップの場で、みんなで話し合った方がよいと思われることについて、何かご提案はありますか？
みんなと仲良くなりたい。
なぜ反対なのか、なぜ賛成なのかははっきりわからない。
前提条件となる様々な分析結果に基づいて話し合うべき。
問題の所在を明確にする。どんな港にしていきたいか、したいのか(漁師さん)→デザイン・世界遺産・地産池消
まだまだこれから始まることだと思う。もっと鎌倉の未来について話し合いたい。
漁師さんの意見が少ないのでは。
一般市民への周知・広報。
具体的な影響。
「狙い」があっても、「効果」がわからず、また「負担」もわからないのでバランスの判断が出来ない状況を変えるために、具体的な効果、費用等の程度を(金額だけという意味ではない)を明らかにしては如何か。
・「漁港が欲しい理由、メリット・デメリット」「漁港が欲しくない理由、メリット・デメリット」→お互いの利害を解決する方法 ・費用負担
一般市民に漁業者の理解を深める。
現場視察するべき。
漁港を造ることに対して反対される方々の、その反対する理由を全てあげてもらいたい。
前提情報の不足。市が準備するべき。
①WSのアウトプットとしては書類として残すしかないはず。市が使う事を想定しているアウトプットのフレームを先に示してしまうのが良いのでは？(目次案) ②目次案としては第1回のKJ法の整理を活用するのがよいと思う。
まだわからない。
発展的な想像力と実行力を持って検討していきたい。
話し合う前にみんなが同じ知識情報を持つ土俵に乗せてほしい。次に生の意見を出し、聞き、次のステップへ進むことができる。有意義な議論をさせてください。一刻も早くその場を作ってください。

自由意見
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の食糧自給率の問題を考えて頂きたい。第一次産業に従事する人々を草の根から応援しない事には、私達は自国の食べ物を口にすることが出来なくなってしまいます。 ・会社や企業の議会の場ではない事を参加者が理解していないと、本来の漁港問題の議論が出来ないのではないのでしょうか。 ・実際に台風時の損害額の査定や、漁港の建設の際の影響などには別の予算建立が必要になるのでは？
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップのあり方、ファシリテータの先生のお話に大賛成です。 ・農業とともに漁業は産業の原点です。一次産業が繁栄する事で飲食、生活、仕事など色々な部門で発展があると思う。